



準耐力壁等凡例

記号	材料名称	倍率
P1	木ずり等打ち付けた壁(片面)	0.5
P2	JAS構造用合板	2.5
P3	パネックボード又は構造用パネ	2.5
P4	石膏ボード又は強化石膏ボード	0.9

性能表示軸組判定表

階	方向	存在軸組長	単位 m		
			必要軸組長	判定	壁余裕度
2	X	21.880	17.975	OK	1.21
	Y	23.820	17.975	OK	1.32
1	X	41.940	38.144	OK	1.09
	Y	43.920	38.144	OK	1.15

床・小屋梁の継手・仕口判定表

階	方向	通り	耐力壁線間距離	平均存在床倍率	単位			判定
					必要接合部倍率	床・小屋梁の継手・仕口	存在接合部倍率	
2	X	2-6	3.640	0.880	0.700			
		6-8	1.860	0.880	0.700			
	Y	1.5-4.5	2.770	0.880	0.700			
		4.5-7.5	2.770	0.880	0.700			
		7.5-11.5	3.640	0.880	0.700			
1	X	2-6.8	4.400	1.342	1.000	1.900	OK	
		6.8-10	2.920	0.880	0.700			
	Y	0-4	3.640	0.854	0.700			
		4-6	1.860	1.126	0.700			
		6-6.5	0.495	1.126	0.700			
6.5-11.5	4.550	1.126	0.958	1.900	OK			

性能表示存在軸組長算定表

階	方向	軸組長	準耐力壁等軸組長	存在軸組長
2	X	21.880	0.000	21.880
	Y	23.820	0.000	23.820
1	X	41.940	0.000	41.940
	Y	43.920	0.000	43.920

性能表示必要軸組長算定表

階	方向	床面積	乗ずる数値	必要軸組長
2	X	50.49	0.356	17.975
	Y			
1	X	88.50	0.431	38.144
	Y			

床面積(地震力)に係る条件
 壁・屋根の重量が重い建築物(土蔵造、瓦葺等)
 屋根の軽い建築物(金属板、スレート葺等)
 地震地域係数 Z 1.0
 多雪区域
 勾配低減
 $Rf = 2階床面積 / 1階床面積 = 0.571$
 $K1 = 0.4 + 0.6Rf = 0.743$
 $K2 = 1.3 + 0.07/Rf$ (Rfが0.1より小さい場合2.0) = 1.423
 1階乗ずる数値 = 0.580K1
 2階乗ずる数値 = 0.250K2

建物諸元

建物名称	森岡郷幸様邸新築工事	
平面単位(m ²)	910.0	
階数	2	
屋根	重い屋根	
多雪区域	外	
最深積雪量(m)	1.00	
地震地域係数 Z	1.0	
地域基準風速 V0(m/s)	34	
床面積(性能表示) m ²		
	1階	88.50
	2階	50.49
延床面積 m ²		138.99
屋根勾配		0.4
立面上の屋根厚さ		
階高		
	1階	2995.0
	2階	2814.0
軸組階高		
	1階	2995.0
	2階	2850.0
横架材間内法寸法		
	1階	2715.0
	2階	2850.0
天井高		
	1階	2400.0
	2階	2400.0
開口高		
	掃出・ドア	2000.0
	腰高窓(大)	1400.0
	腰高窓(中)	1000.0
	小窓	600.0
目標等級		
耐震等級(倒壊防止・損傷防止)		2
耐風等級		1
耐積雪等級		-